

各分野における主な提案品目（物品・役務）

| 分野 | 主な提案品目等 | 見直し・新規追加 | 提案の内容（判断の基準の考え方等） | 検討に当たっての留意点等 |
|---------|---|----------|---|---|
| 文具類 | 文具類全品目（紙製の場合） | 見直し | 文具類共通の判断の基準（紙製）の古紙パルプ配合率の見直し。共通基準においては、50%を40%とする等の提案 | 古紙の需給環境、文具メーカーの古紙パルプ配合製品の市場への供給状況、今後の見込み等を踏まえ、判断の基準等の見直しの必要性について検討 本年度設置する印刷用紙専門委員会における議論を参考 |
| | 文具類（消しゴム（スリーブ）、ファイル（フラットファイル、フォルダー、持出フォルダー、ボックスファイル等）、ファイリング用品（インデックスシート） | 見直し | 古紙パルプ配合率に特化した判断の基準の見直し | 古紙の需給環境、文具メーカーの古紙パルプ配合製品の市場への供給状況、今後の見込み等を踏まえ、判断の基準等の見直しの必要性について検討 本年度設置する印刷用紙専門委員会における議論を参考 |
| オフィス機器等 | 電子式卓上計算機 | 見直し | バイオマスプラスチック等の環境負荷低減効果が確認されたものを要件として追加 | 再生プラスチック又はバイオマスプラスチックを使用した製品の市場への供給状況及び今後の見込み、競争性の確保の確認、適切な数値基準の設定等について検討 |
| その他繊維製品 | 不織布マスク | 新規追加 | バイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを本体不織布部分に10%以上使用 | 国等における調達実績及び今後の調達見込み、環境負荷低減効果、市場への供給状況等を踏まえ検討 原料としてバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックの使用に関する取扱いについては、既存品目に係る見直し提案と併せて検討 |
| 災害備蓄用品 | 化石資源由来の再生ポリプロピレン繊維を使用した防護服 | 新規追加 | 再生ポリプロピレン繊維を繊維部分全体重量比で50%以上使用、エコマーク認定基準を満たすこと又は同等のものであることのいずれかを判断の基準とする提案 | 国等の機関における調達状況及び今後の見込み、新規品目として追加する場合、市場における競争性の確保について確認 |
| その他 | 再生食器 | 新規追加 | 樹脂製リサイクル食器と磁器製リサイクル食器 | 国等の機関における調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況等を確認 |
| 役務 | 印刷（2者から同一提案） | 見直し | 判断の基準を2段階とし、基準値Iに事業者の環境配慮への取組を評価する項目を設定する（選択式とする） ※プレミアム基準の活用 | 2段階基準として設定する場合には、選択肢として設定すべき項目及び項目のレベルの整合等の検討と併せ、全国的な事業者の対応可能性について確認が必要 本年度設置する印刷用紙専門委員会における議論も参考 |
| | 食堂 | 見直し | リサイクルに適していると認められるペットボトル等はワンウェイのプラスチック製の容器等から除外すべき | ペットボトルのリサイクルの状況（Bottle to Bottle等）、今後の見込み、会議運営における回収方法等を踏まえ、判断の基準等の見直しの必要性について検討 |
| | 会議運営 | 見直し | 会議運営の飲料を提供する場合の要件の変更（リサイクルに適していると認められる容器による提供も可とする提案） | 会議における飲料の提供においては、ワンウェイ（使い捨て）のプラスチック製の製品及び容器包装の使用を抑制する主旨で判断の基準等を設定。ペットボトルのリサイクルの状況（Bottle to Bottle等）、今後の見込み、会議運営における処理方法等を踏まえ、判断の基準等の見直しの必要性について検討 |
| 分野横断 | バイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを使用した製品（各分野） | 見直し | 原料としてバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを10%以上使用 | バイオマス由来特性を割り当てるための具体的要件、運用方法、確認方法等に関する検討を実施し、導入に向けての課題を整理 環境省リサイクル推進室の「マスバランス方式を用いてバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックの考え方について」、エコマークの「エコマーク認定基準における『バイオマス由来特性を割り当てたプラスチック』の取扱方針」を参考 |